

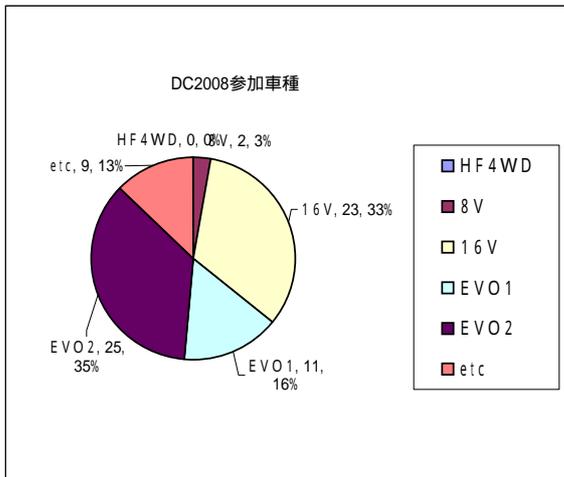
# DCS2008 DATA

Analysis result by CMR&D

参加総台数		72 台		
参加車種	参加台数	獲得point	AvePoint	
HF4WD	0	0	0	
8V	2	30	15	
16V	23	1241	54	
EVO1	11	502	46	
EVO2	25	1663	67	
etc	9	71	8	

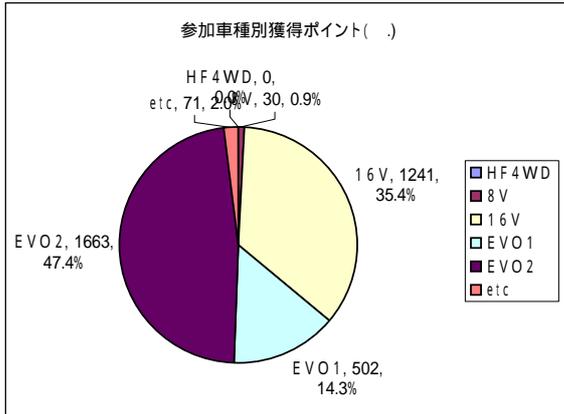
## 分析結果

DCS2007参加総台数95台から、今年2008年は72台と前年比 - 25%と厳しい値となった、デルタも限界か、



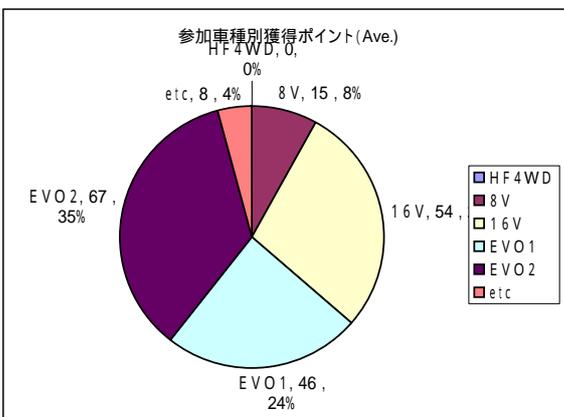
## 分析結果

昨年、参加台数が一番多いのが36台の16Vだったのが、2008年になって、23台に、最終型であるEVO2が25台と16Vを抜いて参加台数が一番多い車種になった。まさに、16Vが時と共に死に絶えているのが数値にも明確に出てきているのが、ただ、依然として16Vがメインの参加車種なので、遊び車として



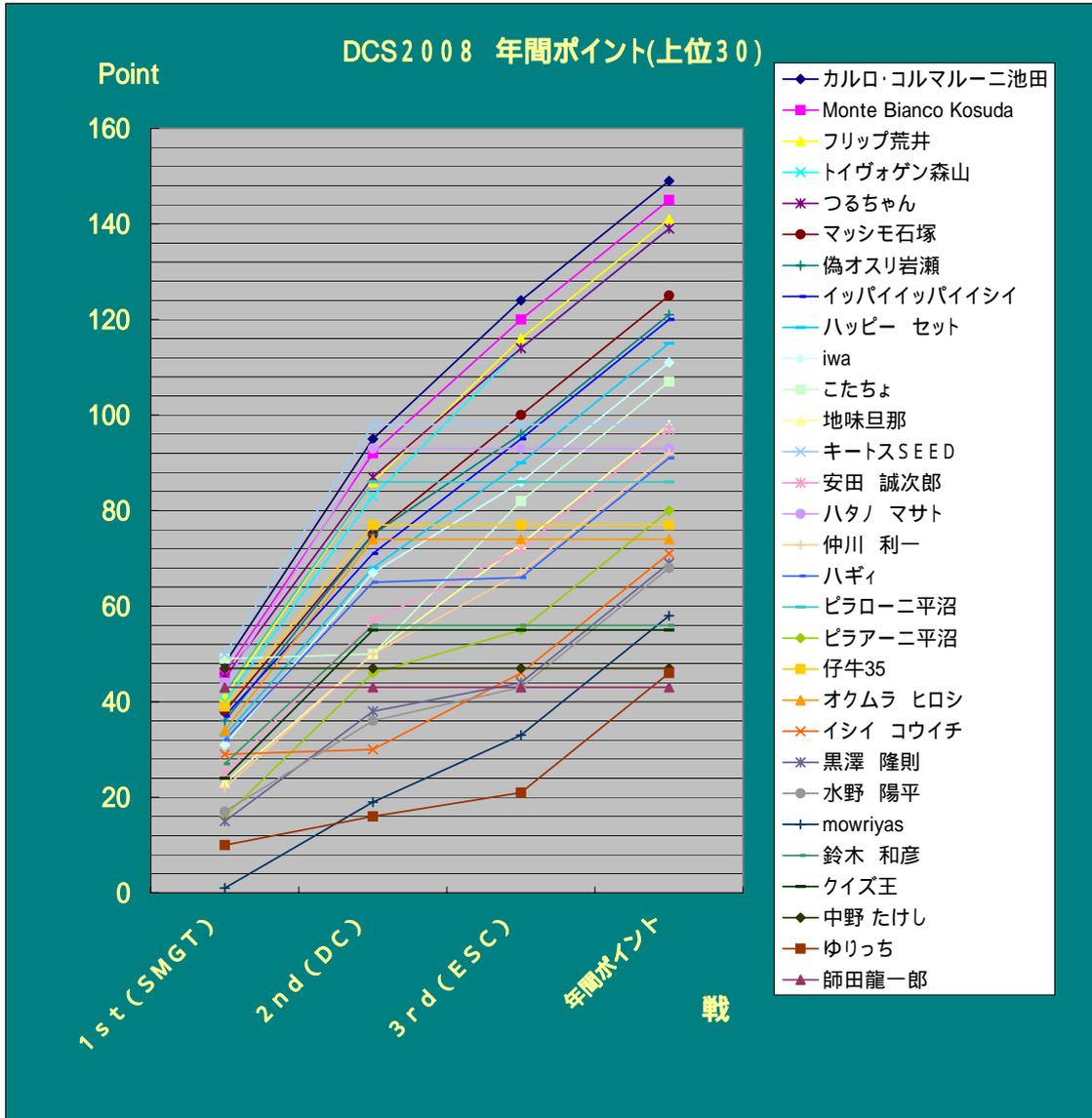
## 分析結果

左の図が、車種別の獲得ポイント総計の構成比だ、参加台数が一番多いEVO2が今年Top、ほぼ台数比に依存、



## 分析結果

左の図が、車種別の獲得ポイントの一台当たりのポイント平均の構成比だ、今年のTopはEVO2、EVO1乗りの常勝連中が今年はフル参戦しなかったのが大きかったのか、いが、平均的に速い人が乗っている車種の様だ、



分析結果(今回は主観的なレポート)

上の図が、上位30名のDCS2008参戦Drの獲得ポイント状況だ。

**[Gr - S]**  
 今年も、2戦迄揃っていた常連組みが第3戦欠場。第2戦終了時点の得点から、コルマルーニ選手の楽勝ムード、なのに、最終戦は誰にもチャンスのあるトイヴォレギュレーションに急遽変更、1発勝負のSS3に更にSS4を設定するという参加台数が少ないからできるDCだった。コルマルーニ選手は最後のSS3でターボパイプが抜けNA状態で入賞圏外に転落。が、何とか踏みとどまって4位。結果、栄光の年間優勝をGetしたのであった。2位はGr - Sで常に上位にランクインし、着実に力を付けたモンテコスダ選手。来年が楽しみです。3位は去年のチャンピオンのフリップ荒井選手。最近キレた走りより、安定した走りが光っている。

**[Gr - B]**  
 Topのヘタレ落ち武者の仔牛選手が全戦優勝かと思いきや、最終戦は不参加で、チャンピオンは混迷状態。激戦のGr-B。今年も上位陣が均衡しており、ワンミスで誰が優勝してもおかしくない状態だった。その中でも、イッバイ×2イシイ選手が抜け出し優勝。2位、3位のハッピー選手、iwa選手も今年は安定していた。さて、来年もシリーズがあればグラジュエイトでGr - Sですね。

**[Gr - A]**  
 総合1位は安田選手。3戦全戦優勝の完全優勝かと思いきや、伊那は苦手だったが、最終戦は2位だったが、全戦表彰台という手堅い走りは素晴らしい。まあ、この車はAクラスの車では無いので、Gr-Bでしっかり戦ってもらいたい。もうAクラスは認めません。ご存知の方も多いと思うが、安田選手は、Sクラスのこたちょ選手のブラザー。デルタカップのシューマッハ兄弟みたいなもんだ。今年も残念なのは、水野選手。あと1ポイント。これが、モータースポーツですね。